

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公表番号】特表2002-544026(P2002-544026A)

【公表日】平成14年12月24日(2002.12.24)

【出願番号】特願2000-618365(P2000-618365)

【国際特許分類】

<i>B 4 1 M</i>	5/00	(2006.01)
<i>B 4 1 M</i>	5/50	(2006.01)
<i>B 4 1 M</i>	5/52	(2006.01)
<i>C 0 8 K</i>	5/00	(2006.01)
<i>C 0 8 K</i>	5/06	(2006.01)
<i>C 0 8 K</i>	5/17	(2006.01)
<i>C 0 8 L</i>	23/00	(2006.01)
<i>B 4 1 J</i>	2/01	(2006.01)

【F I】

<i>B 4 1 M</i>	5/00	B
<i>C 0 8 K</i>	5/00	
<i>C 0 8 K</i>	5/06	
<i>C 0 8 K</i>	5/17	
<i>C 0 8 L</i>	23/00	
<i>B 4 1 J</i>	3/04	1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (i) その中に分散された非イオン性フルオロケミカル界面活性剤を有するオレフィン熱可塑性ポリマー纖維を含む不織ウェブ、および(ii) その中に分散された非イオン性フルオロケミカル界面活性剤を有するオレフィン熱可塑性ポリマー層を含む微孔性フィルムから成る群より選択される基材を提供するステップと、

画像に従って前記基材にインキを適用するステップと、を含む基材の印刷方法であって

、前記オレフィン熱可塑性ポリマーが、2~4個の炭素原子を有する オレフィンから誘導される反復単位から成るポリマーである印刷方法。

【請求項2】 前記オレフィン熱可塑性ポリマーがポリプロピレンであり、非イオン性フルオロケミカル界面活性剤が、式、

$(R_f)_n - Q - (Z)_m \quad (I)$

(式中、

各 R_f は同じでもまたは異なっても良く、少なくとも3個の完全にフッ素化された炭素原子を有するフルオロ脂肪族基を表し、

Qは多価の結合基または共有結合であり、

各 Z は同じでもまたは異なっても良く、ポリ(オキシアルキレン)基を含む非イオン性の水溶性基を表し、

n および m は独立に1~6の数を表す。)に対応し、

式、

$R_f - L - G - X - T$ (II)

(式中、

R_f は少なくとも 3 個の完全にフッ素化された炭素原子を有するフルオロ脂肪族基を表し、

L は結合基または共有結合であり、

G は水溶性ポリ(オキシアルキレン)基であり、

X は酸素または $N R$ (式中、 R は水素、あるいはアルキルまたはアリール基を表す。) であり、

T は水素または有機基である。) に対応する、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記インキが水性インキであり、オレフィン熱可塑性ポリマー層または前記オレフィン熱可塑性ポリマー纖維が、非イオン性非フルオロケミカルポリオキシアルキレン界面活性剤をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】 その中に分散された非イオン性フルオロケミカル界面活性剤を有するオレフィン熱可塑性ポリマー層を含む微孔性フィルムであって、オレフィン熱可塑性ポリマーが 2 ~ 4 個の炭素原子を有する オレフィンから誘導される反復単位から成るポリマーであるフィルム。

【請求項 5】 前記オレフィン熱可塑性ポリマーがポリプロピレンであり、非イオン性フルオロケミカル界面活性剤が、式、

$(R_f)_n - Q - (Z)_m$ (I)

(式中、

各 R_f は同じでもまたは異なっても良く、少なくとも 3 個の完全にフッ素化された炭素原子を有するフルオロ脂肪族基を表し、

Q は多価の結合基または共有結合であり、

各 Z は同じでもまたは異なっても良く、ポリ(オキシアルキレン)基を含む非イオン性の水溶性基を表し、

n および m は独立に 1 ~ 6 の数を表す。) に対応し、

式、

$R_f - L - G - X - T$ (II)

(式中、

R_f は少なくとも 3 個の完全にフッ素化された炭素原子を有するフルオロ脂肪族基を表し、

L は結合基または共有結合であり、

G は水溶性ポリ(オキシアルキレン)基であり、

X は酸素または $N R$ (式中、 R は水素またはアルキルまたはアリール基を表す。) であり、

T は水素または有機基である。) に対応する、

請求項 4 に記載の微孔性フィルム。

【請求項 6】 その少なくとも 1 つの主面の少なくとも一部にインキの画像パターンが印刷された、請求項 4 に記載の微孔性フィルム。

【請求項 7】 前記インキが水性インキであり、オレフィン熱可塑性ポリマー層が非イオン性非フルオロケミカルポリオキシアルキレン界面活性剤をさらに含む、請求項 4 に記載の微孔性フィルム。